



埼玉大学 All in One Campus at 首都圏埼玉
 ～多様性と融合の具現化～

埼玉大学
 としての
 個性化

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 人社系学部, 理工系学部, そして教職系学部が All in One Campus ● 日本人学生, 留学生, そして社会人学生が All in One Campus | <ul style="list-style-type: none"> ● 首都圏にある埼玉だからこそ考え得る多様な地域と地域の課題 ● 首都圏にある埼玉だからこそ数多く集まる留学生, そして社会人学生 ● 首都圏埼玉から世界へ! |
|--|---|

強み・特色ある戦略的研究と融合科学研究により研究開発・教育拠点を形成, PBL型文理融合教育によりイノベティブでグローバルな人材を育成して首都圏埼玉を活性化, 日本および世界に貢献!

国立大学が法人化されて 2 期 12 年が経ち、4 月から新たな中期目標期間が始まります。この第 3 期に掲げる埼玉大学のビジョンは「埼玉大学 All in One Campus at 首都圏埼玉～多様性と融合の具現化」。2016 年はその第 1 章です。埼玉大学は、知の府としての基盤強化と埼玉大学の個性化を軸として、より一層存在感を増すよう機能強化を進めます。

埼玉大学ではこれまで、学部の枠を超えた再編と連携による大学改革を進めてきました。これは、大学の主たるミッションが知の創造であり継承であることをしっかりと据え、埼玉大学の基盤としての研究と人材育成の二つを充実させるものです。まず、研究力強化については、戦略的研究部門と URA オフィスによる、研究の国際展開を可能とする体制を整え、その結果、研究は着実に進み、大型の外部研究費を獲得するなど一定の成果を挙げています。一方、人材育成機能の強化についても計画は順調に進み、昨年 4 月には人社系大学院を一本化して人文社会科学研究科に拡充し、6 人の外国人教員を採用するなど、国際化に対応できるリーダー的人社系人材の育成基盤の整備が進んでいます。

2016 年 4 月から始まる第 3 期中期目標期間では、基盤強化だけでなく、埼玉大学のブランド化、個性化につながる、さらなる機能強化を進めます。文系・理系・教員養成系の全学部が一キャンパスに集まっている利点、しかもそのキャンパスが、都会の喧噪とは無縁であるものの、とてもアクセスの良い首都圏埼玉にあって、多様な学生が集うという利点を活かして、「埼玉大学 All in One Campus at 首都圏埼玉」のフレーズの下、学問や学生の多様性を尊重しつつシナジーをもたらす「多様性と融合の具現化」を目標に改革を進めていきます。新たな具体的取組としては、文理融合型産学官金・共創スペース「先端産業国際ラボ」の設置、および地域のニーズに則した人材育成のための「統合キャリアセンター SU」の設置等があり、地域活性化拠点としての機能をより一層強化します。

昨年、埼玉大学は卒業生である梶田隆章さんのノーベル物理学賞受賞に大いに沸きました。役員も、教員も、職員も、学生も、そして同窓生も、全員がその快挙を大変嬉しく思うとともに、埼玉大学を誇りに思いました。これからも埼玉大学の構成員が目標を同じく一丸となって協働し、質の高い教育、質の高い研究、質の高い仕事、質の高い学修に誇りを持って取り組んでいきます。

2016 年 1 月

埼玉大学長 **山口宏樹**